2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　株式会社ＡＶＩＬＥＮ　上場取引所　東
コード番号　5591　ＵＲＬ　https://avilen.jp/ir/
代表者　（役職名）代表取締役　（氏名）高橋　光太郎
問合せ先責任者　（役職名）執行役員ＣＦＯ　（氏名）高田　拓明　ＴＥＬ　03（5823）4694

配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　：有

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	1,509	25.0	330	35.3	324	39.4	211	37.8
2025年12月期第３四半期	1,208	－	244	－	232	－	153	－

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　211百万円（37.8%）　2025年12月期第３四半期　153百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	34.69	34.19
2025年12月期第３四半期	25.17	24.32

（注）2024年12月期第４四半期より連結財務諸表を作成しているため、2025年12月期第３四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	1,502	938	62.5
2025年12月期	1,381	726	52.6

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　938百万円　2025年12月期　726百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,141	28.0	356	29.8	340	29.8	221	26.8	36.18

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料７ページ「２．四半期連結財務諸表及び主な注記（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）」をご覧ください。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：有
③　会計上の見積りの変更	：有
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	6,107,654株	2025年12月期	6,107,654株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	－株	2025年12月期	－株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	6,107,654株	2025年12月期３Ｑ	6,107,493株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更） …… 7
（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更） …… 7
（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当社グループは「データとアルゴリズムで、人類を豊かにする」をパーパスに掲げ、「企業と人がAIを自在に使いこなし、発展し続ける豊かな未来」の実現に向けて、「AIを搭載したソフトウエアの開発」と「デジタル組織の構築を支援するプログラムの提供」を主軸に、企業のAI活用/DX推進による成長を支援してきました。その中で、特に既存取引先のLTV最大化、AIソリューションの新パッケージ開発及びM&Aやアライアンスに向けた取り組みにより一層注力し、非連続成長の実現のための施策を進めております。

AIソフトウエアユニットでは、AI・データサイエンスの観点でデータの利活用により、顧客企業の業務効率化等の新たな価値を創造するソリューションを提供しています。高速かつ高精度なボイスボットの展開や業務プロセスの完全自動化を目指す帳票処理AIエージェント「帳ラク」等の最先端の生成AIソリューションの開発をはじめ、生成AI関連の開発プロジェクトやChatGPTを組み合わせた自社SaaSプロダクトである「ChatMee」等、生成AIビジネスへの展開に注力しております。

ビルドアップユニットでは、AI/DXに関わる組織及び人材の現状評価から必要人材（ビジネス領域及びエンジニア領域）の育成まで、AIの実装を実現するための組織開発に必要なパッケージ化されたサービスを一気通貫で提供しております。また、新たに生成AI関連コンテンツをリリースするなどサービス範囲の拡充を進めております。

AI業界を取り巻く事業環境については、生成AIの登場でAIの実用化が急速に進んでいる状況にあり、世界におけるAI市場規模は2030年には8,267億ドルになるとする予測（出典：総務省「令和７年版 情報通信白書」）がされております。この環境下において、AIソフトウエアの需要拡大に伴い、特にAI人材の需給ギャップが広がり、真に価値のあるAI活用のニーズが顕在化する見通しとなっております。

良好な事業環境のもと、組織開発からAIアルゴリズム開発まで完結したソリューションを提供できる当社独自の一気通貫モデルに加え、株式会社大塚商会等の資本業務提携先との連携を深化させながら、AIソフトウエア及びビルドアップ共に顧客基盤の拡充、継続性の高いプロジェクトを着実に積み上げております。また、DS-Hubの活用等により今後の成長に向けて優秀な人材の採用も順調に進んでおります。加えて、2026年３月に株式会社ベルシステム24ホールディングスとの合弁会社（株式会社BA Intelligence）を設立し、当社グループの「開発」機能とベルシステム24の「運用」機能を一体化し、より機動的かつコスト効率の高い体制で、各企業の実務に適合したAI活用を支援する体制を構築しております。以上より、中長期的な事業拡大が見込まれる状況にあります。

当第３四半期連結累計期間においては、AIソフトウエアユニット及びビルドアップユニットにおける顧客数・プロジェクト数は堅調に推移し、売上高1,509,826千円（前年同期比25.0%増）、営業利益330,421千円（前年同期比35.3%増）、経常利益324,426千円（前年同期比39.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益211,898千円（前年同期比37.8%増）となりました。なお、当社グループはAIソリューション事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しておりますが、販売実績を主な内訳に区分した売上高は、AIソフトウエアユニットは1,035,855千円（前年同期比31.7%増）、ビルドアップユニットは473,971千円（前年同期比12.4%増）となっております。

（２）当四半期の財政状態の概況

① 財政状態の状況

（資産）

流動資産は1,071,911千円となり、前連結会計年度末に比べ96,462千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が106,121千円増加したことによるものであります。

固定資産は430,221千円となり、前連結会計年度末に比べ24,470千円増加いたしました。これは主に、合弁会社（株式会社BA Intelligence）の設立等により投資その他の資産が67,264千円増加した一方で、連結子会社（株式会社LangCore）の取得に係るのれんが償却により38,076千円減少したことによるものであります。

この結果、当第３四半期連結会計期間末における資産合計は1,502,133千円となり、前連結会計年度末に比べ120,933千円増加いたしました。

（負債）

流動負債は375,648千円となり、前連結会計年度末に比べ26,840千円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が26,562千円減少したことによるものであります。

固定負債は187,625千円となり、前連結会計年度末に比べ64,125千円減少いたしました。これは、長期借入金の返済によるものであります。

この結果、当第３四半期連結会計期間末における負債合計は563,273千円となり、前連結会計年度末に比べ90,965千円減少いたしました。

（純資産）

純資産は938,859千円となり、前連結会計年度末に比べ211,898千円増加いたしました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想について変更はありませんが、今後の事業環境の動向や業績の進捗を注視し、業績予想の見直しが必要と判断した場合には速やかに開示いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	642,136	748,258
売掛金及び契約資産	382,062	359,897
その他	26,343	38,849
貸倒引当金	△75,093	△75,093
流動資産合計	975,449	1,071,911
固定資産		
有形固定資産	7,117	9,944
無形固定資産		
のれん	291,922	253,845
著作権	4,535	4,535
ソフトウエア	33,165	25,621
無形固定資産合計	329,623	284,002
投資その他の資産	69,009	136,274
固定資産合計	405,750	430,221
資産合計	1,381,200	1,502,133
負債の部		
流動負債		
買掛金	23,381	26,388
未払金	25,841	25,335
未払費用	54,742	61,055
契約負債	51,238	45,104
１年内返済予定の長期借入金	85,500	85,500
未払法人税等	78,798	52,236
賞与引当金	25,019	17,376
その他	57,966	62,651
流動負債合計	402,489	375,648
固定負債		
長期借入金	251,750	187,625
固定負債合計	251,750	187,625
負債合計	654,239	563,273
純資産の部		
株主資本		
資本金	62,635	62,635
資本剰余金	59,635	59,635
利益剰余金	604,115	816,014
株主資本合計	726,387	938,286
新株予約権	573	573
純資産合計	726,960	938,859
負債純資産合計	1,381,200	1,502,133

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	1,208,121	1,509,826
売上原価	361,441	498,169
売上総利益	846,679	1,011,656
販売費及び一般管理費	602,493	681,235
営業利益	244,185	330,421
営業外収益		
受取利息	875	2,031
助成金収入	3,300	－
経営指導料	－	3,000
その他	143	372
営業外収益合計	4,318	5,403
営業外費用		
支払利息	5,134	5,779
支払手数料	10,250	－
為替差損	462	364
持分法による投資損失	－	5,255
営業外費用合計	15,846	11,398
経常利益	232,658	324,426
税金等調整前四半期純利益	232,658	324,426
法人税等	78,938	112,527
四半期純利益	153,720	211,898
親会社株主に帰属する四半期純利益	153,720	211,898

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	153,720	211,898
四半期包括利益	153,720	211,898
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	153,720	211,898

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更）

第１四半期連結会計期間より、株式会社BA Intelligenceを合弁会社として設立したことから、持分法適用の関連会社に含めております。

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

有形固定資産の減価償却方法については、従来、当社及び子会社は、定率法（ただし、2016年４月１日以降に取得した建物附属設備は定額法）を採用しておりましたが、第１四半期連結会計期間の期首より減価償却方法を定額法に変更しました。

この変更は、中期経営計画の策定に伴い、有形固定資産の使用実態を検討した結果、当社及び子会社で利用する有形固定資産は、耐用年数にわたり安定的に利用しており、費用を均等に計上することが当社及び子会社の経済的実態をより適切に反映できると判断したため、定額法を採用することにしたものです。

なお、この変更が当第３四半期連結財務諸表に与える影響は軽微です。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記）

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

AIソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

AIソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	8,599千円	8,688千円
のれんの償却額	38,076千円	38,076千円